

貴重な生き物の宝庫

「明石公園」

奥津晶彦（里山からの手紙）

明石公園は駅前にあり、甲子園球場13個分と言うそれほど大きくない場所であるにも関わらず、昆虫の希少種は30種類以上、日本の野鳥の約15%に相当する約90種類の野鳥を観察できる奇跡の場所です。その豊かな自然を通して、一人でも多くの方に自然の素晴らしさを知っていただき、明石公園をはじめとするこの貴重な環境を守っていきたいと思っています。



アオヤンマ（兵庫県RDB：Aランク）



ナミルリモンハナバチ（兵庫県RDB：要調査）

活動内容

- ・明石公園の自然観察会の実施
- ・生態系、昆虫、植物などについての勉強会
- ・他自然保護団体との交流
- ・兵庫県内を中心とした自然観察会、ハイキングの実施



自然は10-1≠9です。1種類の生き物がいなくなると、何種類もの生き物に影響します。生態系の複雑さを実際に自然に触れ感じながら、自然の奥深さを学び、明石公園を始めとする貴重な自然を守っていきたいと考えています。

「豊かな自然を活かして 明石公園の魅力UP大作戦！」 3年間の軌跡

岩崎善行（兵庫県立明石高校 講師）

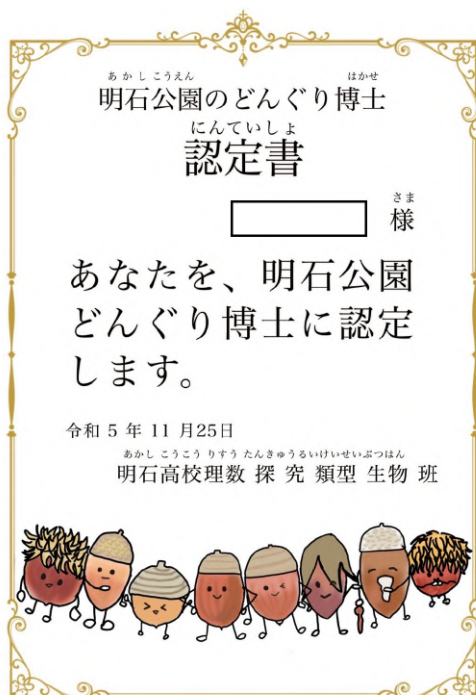
明石高校理数探究類型2学年の生物班では、3年前から「明石公園の魅力UP大作戦!」をテーマにした課題研究を実施してきました。

1年目は、明石公園の自然の価値を再評価する研究を行い、それにもとづいて「明石公園の魅力UP大作戦!」を提言。

2年目は、それを実践に移して、明石公園の野草の多様性を高める丁寧な草刈りや、樹木に銘板をつける取り組みを実施。

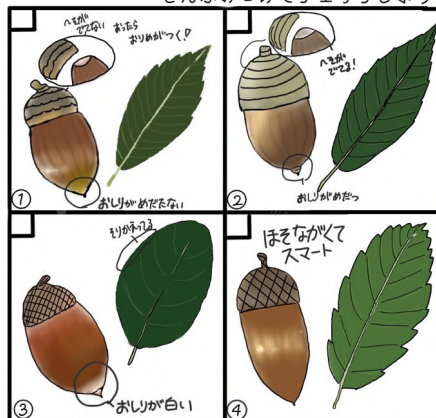
3年目の今年度は、小学生や市民の皆さんに、明石公園の樹木に親しんでいただく出発点として、ドングリの樹について研究。その成果を活かして、小学生1・2年生を対象にした親子サイエンス教室「明石公園のドングリ博士になろう!」を開催しました。

今回の発表では、この3年間の研究と実践の軌跡について、発表します。

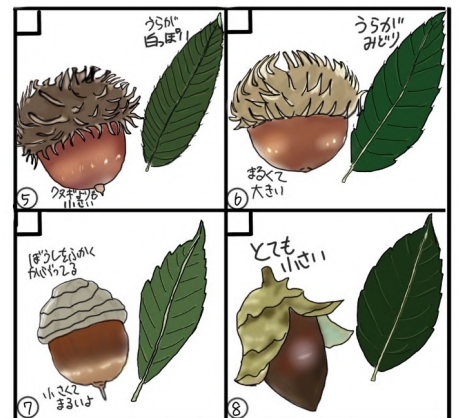


チェックシート

ぜんぶみつけてチェックしよう!



- ① アラカシ: はっぱのはんぶんまでギザギザがあるよ! おったらおりぬがつく! みのあたまとおしりがでていない!
- ② シラカシ: はっぱのはんぶんいじょうギザギザがあるよ! あたまとおしりがでていないよ!
- ③ ウバメガシ: はっぱは小さくて、そりがえってる! ほうしがまるいうろこみたい! おしりが白いよ!
- ④ コナラ: はっぱはぼほろくてギザギザがいっぱい! みがほそながくてスマート!



- ⑤ アベマキ: はっぱのうらは白っぽくて、ギザギザの先ははりみたい! みはクヌギよりも小さくてスマート!
- ⑥ クヌギ: はっぱのうらはみどりいろ! みがずんぐりむっくり!
- ⑦ イチイガシ: はっぱの先がとがって上がギザギザ! みがまるくて小さい!
- ⑧ スダジイ: はっぱは小さくてさきがとがってる! みが小さくて、ほうしがみをまもってる!

子育てしながら仕事もできる 「インクルーシブプレイス」を明石公園に！

上田隼也（ブランド開発支援業・kiti代表）
三神優子（ジュエリーブランド・NUDGE代表）

■背景と現状

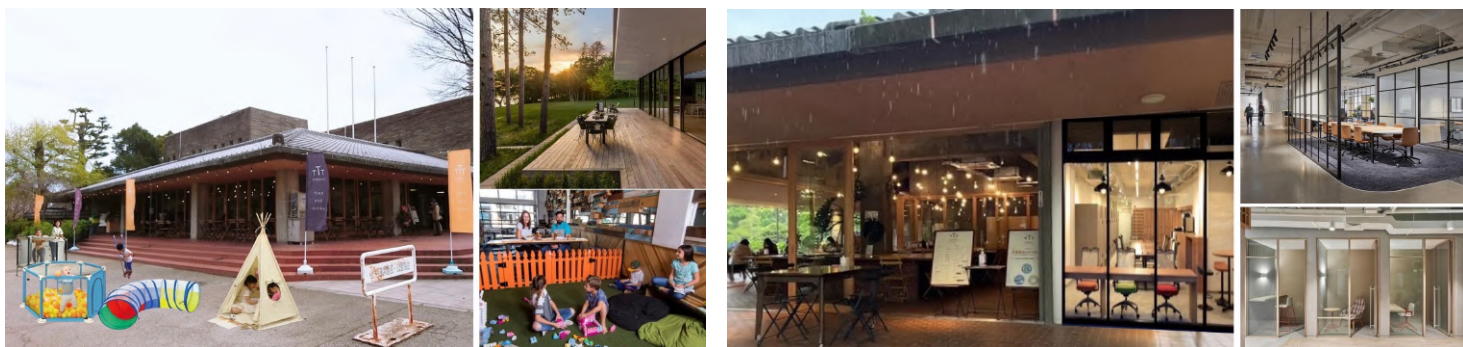
明石は移住者が増え30万人都市となりました。子育て支援以外にも、交通の利便性、自然や食の豊かさなども決め手となり、30-40代の子育て世代の移住が増えています。移住者には男女問わず、働き方がフルリモートや、個人事業主、会社経営者など裁量をもつ優秀な人も多く、せっかく移住してきたにも関わらず、移住者同士、また地元の方々と居合わせる機会や子連れでも働ける環境が乏しく、それが叶う場を求める声も多くあります。そのような場を求めて法人登記を神戸などでする方もおり、明石では起業メリットもないのが現状です。



子連れで働ける場所がなく、創業準備中によく利用していたイケアのレストラン内のキッズスペース

■想い・ご提案

明石公園のTTTの機能を拡張し、老若男女が心地よく過ごせ、育児と仕事も両立しやすい場として利活用したいです。駅から近く、歴史的・文化的にも市の象徴である明石公園で、居合わせた人の間で交流が生まれ、一人ひとりの幸福度が高まり住む街をもっと誇れるようにしたいです。



■実現に向けて

試験的にTTT運営の元、武蔵の庭の竹柵を撤去し庭に簡易遊具を設置。目の前で自律的に遊ぶ子どもを見守りながら大人がTTTで過ごせるようにしつつ、段階的にギャラリースペースとカフェを隔てる壁をガラスへ変え、静かに自分の時間が持てるスペースに（ギャラリーの展示はできるように）。更に子どもたちが遊ぶ空間としては狭いため一階の事務所スペースも活用させて頂き、コワーキングスペースやプレイスペースとして利用できれば、育児も仕事も両立しやすい空間になると思います。その際、大変厚かましいお願いになりますが、一階の事務所は二階に、二階の事務所は西館等を利用頂くご検討も相談したいです。そのような場で、託児機能や交流イベントを充実させていき、多様な属性が交わるインクルーシブプレイスを実現させたいです。運営主体も市民から募り、利用者と運営者が循環する民主的な仕組みにできればと考えます。

火気厳禁のルールの見直しに向けて

増岡義人

今年は、明石市にとって、大きな一歩を踏み出した年になりました。6月11日に明石公園で手持ち花火とランタンを、11月3日にシークレット花火を実施することが出来ました。いずれも地域の皆さんは大喜びでした。これは、明石市で楽しい花火をやる場所が少ないことも原因しています。

そこで、明石公園で日常的に花火をできるようにしてもらいたいと考えます。他の市をみても公園で花火が出来る所は多くあります。例えば、神戸市では、ルールを決めて東遊園地やHATゆめ公園、しあわせの村、須磨海水浴場などで手持ち花火ができます。その際、管理事務所の人がいなくとも、住民の責任の中で実施しているとも聞いています。是非、明石公園でも手持ち花火ができるようにしていただき、将来的には一定の管理のもとに打ち上げ花火もできるようにしてもらいたいと思います。さらに、明石公園の取組が、明石市の他の公園や海岸にも波及していくことを明石市にも検討してもらいたいと思います。

明石公園では、まずTTTの前の道路あたりから、TTTが見守りをしながら手持ち花火からスタートし、徐々に広げていく案はいかがでしょうか。TTTに手持ち花火を販売してもらえると、更に花火もやりやすくなると思います。

更にBBQやキャンプも出来るようになれば更に楽しくなります。そういった空間も作ってもらえると嬉しいです。今までの火気厳禁から、安全管理の徹底の下で一歩踏み出しましょう。



野鳥観察を通して 楽しみ学ぶ明石公園

岩崎健二（日本野鳥の会ひょうご代表）
田中葉子（日本野鳥の会ひょうご）
奥野俊博（日本野鳥の会ひょうご）

当会は会員と一般来園者を対象に野鳥観察会（探鳥会）や野鳥を通じた自然の仕組みなどを学ぶ環境学習の場として明石公園を活用している。当会では1984年から4回、各1年間の鳥類生息調査を明石公園において実施し、市街地にありながら鳥類の繁殖、越冬、渡りのすべてに明石公園が重要な環境と地理的位置を有していることを見てきた。先人たちが残してくれた明石公園が、人と自然が共生できる公園として存続させて、遠くに出かけられない人にも自然環境に浸る楽しみを伝えていきたいと思えます。

私たちの明石公園での活動内容と目的

1. 一般来園者および会員を対象に、野鳥観察会（探鳥会）や環境学習のフィールドとして利用しています。
2. 目的は野鳥を知る喜びと心のやすらぎを得、他の動植物を含む環境に関心持つ人をふやしたいのです。

園内の鳥類生息調査で得た知見

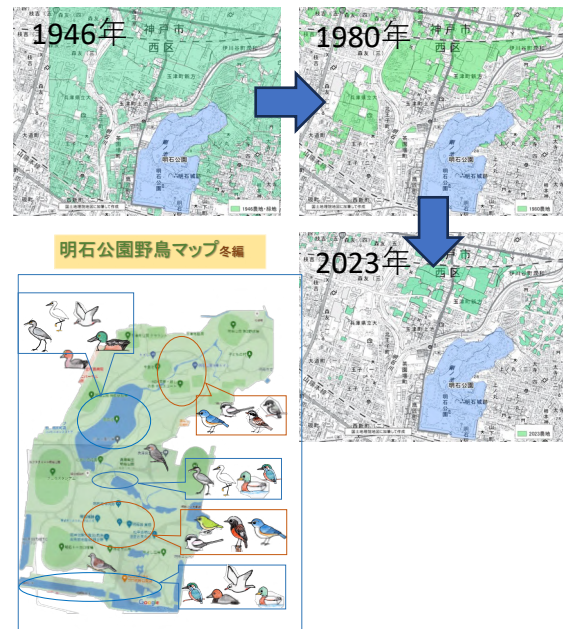
私たちは1984年から38年間の間に1年間に渡り同じ方法で鳥類調査を4回実施し、この間に総種類数94種の鳥を確認。飛来する鳥類にも変化が見られ、種数も回を重ねるにつれて増加してきました。

しかし個体数には、減少傾向が見られました。明石公園では個体数が少ないのに種数が多いのは右の図のように公園周辺の農耕地と緑地の減少が考えられます。

公開されている昭和21年（1946年）の航空写真をもとに、明石公園の周辺の農耕地（緑地含む）を図に示しました。77年前、明石公園周辺の住宅地は非常に少なく、広い農耕地に民家が点在していました。しかし、現在は公園の北側にわずかに農耕地が残るのみで、すっかり市街地となっています。このような状況で明石公園が都市の中のオアシスとして、非常に重要となっていることが分かります。鳥類が、まだ昔の環境を維持している明石公園に生息場所を求めざるを得ない状況にあると考えられます。

野鳥を探そう

冬の明石公園には多くの野鳥たちがやって来ます。興味を持つことで、あちこちから鳴き声が聞こえてきたり、あなたの身近で姿を見つけることができますよ。



林や草地で見られる鳥たち



水辺で見られる鳥たち



夏に日常的に 水遊びのできる場がほしい

浅田慧太（明石盛り上げ隊）

年々猛暑が厳しくなる中、夏の水遊びの場が求められています。明石市内の水遊びは、明石海浜プール【明石市二見町】があるものの、東部にはありません。そのため、今年は昨年に続き、8月6日に明石公園西芝生広場で「ウォーターランド」を開催し大いに賑わいました。

そこで、利便性の良い明石公園で、1日だけではなく、夏休み期間中に仮設プールを設置するなど水遊びのできる場を常設してもらえないでしょうか。大阪府や栃木県にキッズ向け仮設型プールの設置例があることも聞いています。

例えば、芝生の上で常設すると芝生が傷むことから、芝生のない仲よし広場からスタートしてはどうでしょうか。仲よし広場をよく利用されている皆さん（グラウンド・ゴルフ等）の理解も得ながら進めていければと思います。

採算性の確保が必要であることから、有料で開催することはやむをないと思いますが、市から水を安く提供するなど、色々な支援をおりませながら、子どもたちに利用しやすい料金設定を考えていただけると嬉しいです。

夏に
日常的に水遊びの
できる場がほしい



ワクワクしながら石垣の管理

樟陽介（明石盛り上げ隊）

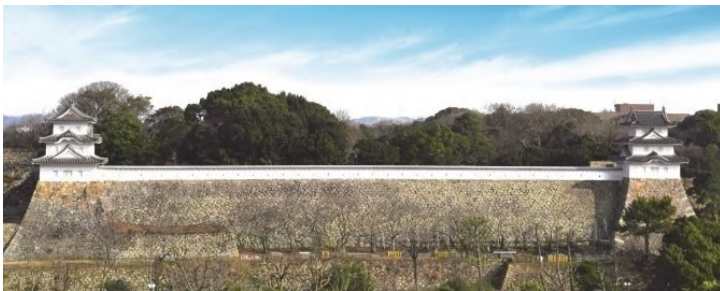
美しい明石城の石垣は明石の誇りです。築城400周年記念事業で石垣がきれいになり、ライトアップされた時は、皆が胸躍りました。JRやパピオスなど遠方からの景色も素晴らしく、明石城を知らない人からも「明石城は素晴らしいね」という話をよく聞きました。しかし、最近では雑草に覆われる箇所もでてきて、石垣が見えにくくなっているのが残念です。

一方で石壁の管理は大変だと思います。費用も高額になるのではないのでしょうか。そこで、自衛隊や消防などが訓練の一環として年に一度管理してもらえると、コスト縮減になるだけでなく、石垣の知名度の向上や観光の名物にもつながると思います。姫路城では「クリーン作戦」と題して、自衛隊の皆さんが石垣の隙間から伸びた草木を伐採することが、年末の「すす払い」として風物詩になっていると聞いています。

更に、十分な安全管理をした上で、石壁にのぼって草木をとることを有料イベントにしてはどうでしょうか。必要な資格があるのかはわかりませんが、石壁にのぼれることだけで人はお金を払ってでも集まると思います。可能であれば、有料にして石壁管理をしてもらうイベントを企画したいと思います。

最近の明石城の石垣

築城400周年記念事業時の明石城の石垣



最近の明石城の石垣



姫路城石垣の自衛隊の管理



明石公園の夜の利用を推進！ 明石城の櫓で城泊

増岡義人（明石盛り上げ隊）

明石城や武蔵の庭のライトアップにより、明石公園そして明石市の価値は大いに上がりました。また、今年のまちなみガーデンショーのライトアップや時のウィークのランタン・花火など、夜の利用を推進することで公園の魅力は高まっています。一方、明石市の観光は通過型で宿泊が少ないことが課題とされています。

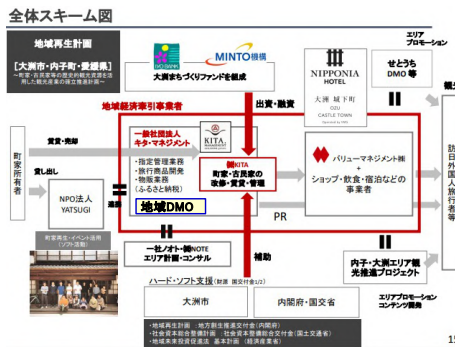
そこで、公園内のライトアップや夜のイベントを増やすことで、明石市の観光や経済は活性化すると思います。特に、城のある他市の事例を見ると、城泊等により24時間で城を活用することを地域全体で取り組むことで、街は一変しています。例えば、愛媛県の大洲城では、宿泊に加え、着物・甲冑を着て、鉄砲隊や昔の食事、伝統芸能等を体験できます。加えて、城内だけでなく城下町全体で古民家を活用した宿泊・カフェ・物販等に取り組み、江戸時代を追体験することで街全体の価値を上げています。

明石城でも櫓を見学するだけでなく、宿泊できるようにしたり(城泊)、音楽を聞けるようにしたり、飲食できるようにしてはどうでしょうか。加えて、明石公園周辺の寺や古民家でも宿泊やカフェをするようになれば、江戸時代を彷彿することができ、観光の目玉となり地域の活性化につながると思います。

なお、他市で城泊を推進する事例をみると、城を超えて地域全体を取りまとめ・城泊や古民家泊等を企画する地域DMO的な存在が重要になっていますし、市が地域DMOを牽引しています。また、旅館業法等の法規制のクリアーも市が中心となって取り組んでいます。是非、県市が連携し、城泊の社会実験を早期に実施するなど、できることからスタートして頂けないでしょうか。

大洲城の城泊 観覧時間が終了する17時から翌朝9時までの時間帯城主気分で貫切宿泊、入城体験(着物・甲冑レンタル及び着付け、鉄砲隊、機隊、引き馬等含む)、伝統芸能(神楽等)、夕食など春秋の期間を中心に、年間約30日間の期間限定

2名 1泊2食 110万円
3名からは 1人11万円



「明石城城泊(1日城主)」のイメージ

1日目 明石城周辺のまちあるき
→ 櫓で宿泊(食事、音楽など) 2日目 時のウィークのイベントに参加



明石公園内に新たなモビリティを導入 ～利便性を高め（自転車、カート等）、楽しくなる （ホバーボード等）モビリティ～

増岡義人（明石盛り上げ隊）

【利便性を高める】

（自転車）

明石公園は広大です。子どもの村にインクルーシブ遊具が整備されても、「遠いから行けない」という声を聞きます。今後、旧明石市立図書館跡地に魅力的な施設ができて、「遠い」ことが問題になりかねません。そこで、安全を確保するためのルールを作るなどにより公園内で自転車を走れるようにしてもらえないでしょうか。

（カート）

高齢者や障害のある方は、櫓に上がりたくても上がれないのが現状です。そこで、カートを運行してもらえないでしょうか。最先端の技術を使えば自動運転も可能だと思います。

（その他）

他に電動キックボードや福祉車両型ロボット等の次世代モビリティも積極的に導入してもらえないでしょうか。社会実験からスタートし、段階的に導入することで、次世代を見据えた先導的な公園として、魅力はさらに高まると思います。また、これらモビリティが快適に走行するためには舗装整備も必要です。舗装整備の推進により、車いす等の走行も快適になり、カートも車いすも走行する日本一のバリアフリー公園になると思います。

【楽しくなる】

（水上モビリティ）

剛の池では、春にはスワンボートで賑わっていますが、年中利用されているわけではありません。そこで、閑散期に、ホバーボードや水中翼付き自転車、カヌーなどの新たな水上モビリティを利用できるようにしてはどうでしょうか。これらモビリティを生産・保有している企業に協力を得ながら進めれば安価に導入できる可能性もあります。また、堀を船で走るイベントも面白いと思います。あわせて水を浄化すれば更に魅力は高まり、楽しい公園になっていくことは間違いありません。※採算性の検討を含め、各種モビリティの社会実験からスタートしてはどうでしょうか。

剛の池で導入したい水上モビリティ



ホバーボード



水中翼付き自転車



カヌー

堀を船で走る



万博公園で自動運転バスの社会実験

大阪城公園のカート

山下公園で自動走行モビリティの社会実験

芝罘海上公園のゴルフカー

鴨居原公園でシェア電動キックボードサービス社会実験

鶴見緑地の3輪BEV「C+walk T」社会実験

奈良公園で人乗りのモビリティ社会実験

備北丘陵公園に電動モビリティ3台貸出

旧明石市図書館跡を スタートアップ事業の核に

樟陽介（明石盛り上げ隊）

明石市は、子育て支援が充実している一方で、スタートアップ支援は充実していないと感じます。神戸市の「テクノロジーとサイエンスで未来の生活をつくる街 Life-Tech KOBE」のスタートアップ事業の取り組みを見ると羨ましくなります。神戸市は、①起業する、②仮説検証する、③事業拡大する、④実用化を目指すといった各段階でサポートしており、神戸の日本最大級のバイオメディカルクラスターも、こういった取り組みが支えていると聞いています。

明石市ではコワーキングスペースもあまり見ませんし、スタートアップに関心のある人が集まり・交流する場も私は知りません。そこで、駅からも近く、利便性の高い旧明石市図書館跡を、起業したくなる・集まり交流したくなる場にしてもらえないでしょうか。

そのためには、例えば「食」の分野で集まる場合、オープンキッチンなど料理をする場を整備しておくことが望ましいと考えます。また、子どもを連れて参加できる、子どもを見守る環境も必要かもしれません。スタートアップに関心のある皆さんのニーズを把握したうえで、必要な機能を充実すればいいと思います。

今、明石には元気のいい若い人たちが集まってきています。是非、そういったメンバーが集まり、意見交換し、起業したくなる環境整備をお願いします。



旧明石市立図書館と県立図書館



東京・五反野に！
子連れで行ける
コワーキング
OPEN！

神戸市のスタートアップ支援(進捗に応じたモデルケース紹介)



新大久保駅に「食」がテーマの交流拠点

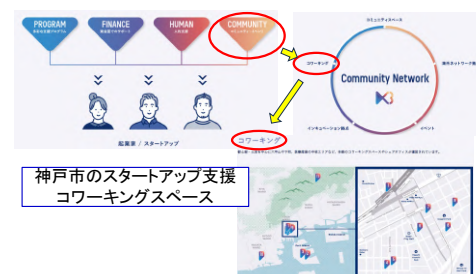


キムチドリアンカルダモン
新大久保駅直結の交流拠点

3F シェアダイニング
食への挑戦・成長を志す出店者が新しい食体験を提供

4F コワーキングスペース
シェフや生産者、ライター、研究機関、ベンチャー企業、調理機器・食品メーカーなど、「食」に携わる方・携わりたい方が誰でも利用できる会員制コワーキングスペース
※様々な人材育成や起業支援のプログラムも提供

4F ファクトリーキッチン
コミュニティキッチンで簡単な調理・実験を行うことができる



日本最大の武者行列と言え 「明石」を目指して

樟陽介（明石盛り上げ隊）

明石公園では、明石葵会の協力により、時のウイークでは武者行列があり、まちなみガーデンショー等のイベントでも甲冑の着付け体験が行われ、その時は大いに盛り上がります。甲冑を着た皆さんも満面の笑顔です。

そこで、日頃から、もしくは櫓の公開のある土日には甲冑の着付け体験ができるようにして、地域の人や観光客に楽しんで頂いてはどうでしょうか。そして、甲冑の着付け体験とあわせ、年に一度、武者行列をするイベントを開催すれば、歴史好き、サムライ好き、コスプレ好きが大集合し、サムライワールドにタイムスリップする盛り上がりになると思います。

「日本最大の武者行列」と言えば、1,000名を超える軍勢が集まる「信玄公祭り（川中島合戦）」です。この軍勢には観光客もコスプレをして集まります。この祭りでは、キッチンカー等で賑わい城下町を作り、「子ども武者行列」「和太鼓演奏」「歴史・文化遺産を素材としたダンスパフォーマンス」「公園外を含めた城下町全体で賑わいの創出」等も行っており、参考になります。また、日頃からの「甲冑の着付け体験」については、「小田原城」「岡山石山公園」の取組が参考になります。明石葵会や明石観光協会、地域の皆さんの協力も得ながら、何年後かに「日本最大の武者行列と言え「明石」」を目指しませんか。十分実現の可能性はあると思います。



時のウイークの武者行列



まちなみガーデンショーの鎧兜試着体験



信玄公祭り（甲州軍団出陣）



甲州軍団出陣ルート

信玄公祭りの各種イベント

12:00-14:00
子ども武者行列
場所：舞鶴城公園周辺
前日の甲州軍団出陣の経験として子ども武者となごな隊がパレードをします。かわいい武者たちの勇壮な行列をぜひご覧ください。
出陣日は12月09日～13月03日、舞鶴城公園特設ステージで行います。

10:00-14:15
スーパー風林火山パフォーマンスコンテスト（MAP 3）
場所：舞鶴城公園特設ステージ
武田信玄・風林火山を題材にしたパフォーマンスを競う全国大会です。富田城おみくじの神札、歴史、文化遺産などを素材としたダンス及び民族芸能で、演奏、振り付け、衣装などで多様なパフォーマンスを競います。

10:00-16:00
賑わい城下町
場所：舞鶴城公園、遊亀橋通り（MAP 27）
舞鶴城公園から遊亀橋通り、虹橋北通りにかけて、お店が軒を連ねます。活気ある雰囲気とおもてなしでお祭りムードを盛り上げます！

14:40-15:50
第50回記念パレード～ハロウィン仮装パレード～
場所：平和通り（MAP 7）
第50回の信玄公祭りを記念して、ダンボール甲冑を着た子ども達やハロウィンの仮装をした方々など、多様な参加者による大人から子どもまで楽しめるパレードを実施します！

13:45-14:45
和太鼓演奏
場所：舞鶴城公園特設ステージ
和太鼓天野会を中心とした迫力ある和太鼓の演奏会です。様々な種類の和太鼓の音が秋の舞鶴城公園に響き渡ります。

10:00-16:00
キッチンカーゾーン
場所：舞鶴城公園南広場
食べたものが満腹！とれにすかすっちゃん・・・！山梨県産のものをぎゅっと集めた美味しいキッチンカーゾーンです。

出店マップはコチラ（JPG：369KB）>

出店マップはコチラ（JPG：333KB）>



石山公園の甲冑体験（岡山県）



小田原城址公園の甲冑体験（神奈川県）

甲冑着付け体験（甲冑・打掛・忍者衣装の貸出）

歴史や季節行事で、武蔵・お墨守・忍者に浸る！
4歳未満の小児は、保護者同伴で体験可能。体験料は別途。甲冑・打掛・忍者衣装の貸出は別途料金がかかります。

施設情報

貸出場所	小田原城址公園甲冑体験センター
営業時間	年約09:00～年約04:00（最終貸出は年約03:00）
料利率	大人（年寄以上）2,000円・小人（小学生以下）1,000円

【甲冑体験内容】	【料金】	【料金】	貸出時間
おてがる体験（兜・陣羽織・刀のみ）	大人1,000円（税込）	子供500円（税込）	当日受付 10分
甲冑一式	大人10,000円	子供5,000円	予約制 60分
甲冑一式（衣装付）	大人15,000円	子供7,500円	予約制 60分

明石公園の自然を生かした 環境体験学習・自然遊び

一宮小栞（一般社団法人のはらくらぶ）
梅澤綺李亜（一般社団法人のはらくらぶ）

『のはらくらぶ』は、人と自然が共にくらす持続可能な社会を目指して、自然観察会や幼・小・中学校等の環境体験学習のコーディネート・サポートを行っています。まずは、身近な自然の存在に気づき、興味・関心を持つことで自分の住んでいる地域を大切に思う心を育てたいとの思いで活動しています。そのために山、川、ため池、海といった水でつながる東播磨ならではの自然環境や小さな生命のつながりを生かしたオリジナルプログラムを提案し、学校と地域・行政・専門家等が連携・協働するネットワークづくりのお手伝いをしています。スタッフはみんな子どもの頃に自然の好きな大人に出会い、心に残る自然体験を重ねてきました。そんな私たちの使命は、未来のリーダーを育てその志を繋いでいくことです。明石公園での環境体験学習の取り組みとしては、「環境体験事業」のフィールドとして、明石市内の小学校の多くの小学校が、一年を通じて活動をしており、のはらくらぶは2004年から約20年に亘って、十数校の環境体験学習のコーディネートやサポートをしてきました。さらには、環境体験学習だけでなく、1年生の生活科（春みつけ 秋みつけ）や幼稚園、保育園の自然あそびなどの指導や支援も行っています。実は、今回の樹木伐採によって活動できる場所が減少し、二の丸や東の丸、稲荷曲輪などがフィールドとして使えなくなりました。どんぐりの木が伐採され楽しみにしていたどんぐりひろいができなくなったなど、多くの影響が出ています。今回は、特に一年を通して学習している事例をご紹介します。明石公園の環境学習のフィールドとしての価値や樹木伐採の影響について、皆さんに知っていただきたいと思います。

